



広島陵北ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB HIROSHIMA-RYOHOKU

The Weekly Report



イマジン
ロータリー

クラブテーマ

こころゆたかなロータリアン

本年度会長方針

Quality of life (クオリティー・オブ・ライフ)

国際ロータリー 2022-23年度 テーマ
ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクト

第1454回例会 2022年12月14日No.1429号

会長時間



会長 代理 高野憲一郎副会長

皆さんこんにちは。本日の例会は、森中会長が出張の為、出席できませんので、代理で会長時間をさせていただきますので、宜しくお願いします。

朝晩めっきり寒くなって参りましたが、お体の方は大丈夫でしょうか。風邪をひかない様、気を付けてください。

本日の例会では、堀江先生に「疾病予防と治療月間に因んで」をテーマに卓話をして頂きますので宜しくお願いします。

私事ではございますが、12月11日(日)に第5回目の新型コロナウイルス

ワクチン接種を打って来ました。今回は、オミクロン株対応2価ワクチン接種で、今までの4回とは、少し成分が違うのか、どうか分かりませんが、今までにはなく、翌朝には、注射を打った場所が痛いし、熱はありませんが、体が怠いし、その成果、会社を少し遅れて出勤しました。コロナウイルス感染が、最近、また、増えているように思えますが、しっかりと予防をして、素晴らしい新しい年が迎えられる様よう、皆さん、気を付けて下さい。

次回例会は、今年最後の例会となります「家族同伴クリスマス夜間例会」を、初めて使用しますヒルトン広島で行いますので、皆さん、会場を間違えないよう、気を付けて下さい。担当委員会のクラブ運営委員会の皆様には、楽しいクリスマス夜間例会になりますよう、宜しくお願いします。

簡単ではございますが、会長時間とさせていただきます。有難うございました。

12月21日のプログラム

家族同伴クリスマス夜間例会

1月11日のプログラム

新年夜間例会

出席報告 (例会運営委員会)

12月14日出席者

会員総数	50名
出席会員	35名
欠席会員	15名
ご来賓	0名
ご来客	0名
ゲスト	0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

12月14日出席者

幹事報告 (高橋 竜也)

1.お知らせ

・クラブ創立30周年記念事業として寄贈した広島城お堀の鯉へ、今年度は青少年奉仕活動の一環として、白島小学校の特別支援学級の児童の皆様と一緒に餌やり活動を行います。出欠は回覧にてお願いいたします。

日時 1月18日(水) 12:30~14:00

場所 例会：リーガロイヤルホテル広島

事業：広島城二の丸御門橋

・米山奨学生封さんの広島市立大学芸術学部連携展「工の環」のチラシを先日会員の皆さんへメールさせて頂いております。12月9日から12月25日まで、「はつかいち美術ギャラリー」にて開催しておりますので、是非皆さんお立ち寄りください。

・次週の例会は家族同伴クリスマス夜間例会へ変更しております。18時30分から会場はヒルトン広島となりますので、お間違えないようお願いいたします。

・本日の卓話資料を配付しております。

疾病予防・治療月間に因んで



堀江正憲会員

『卓話』

2022年12月14日
広島陵北ロータリークラブ
堀江正憲

普通のかぜとインフルエンザ、新型コロナウイルスはどう違うの？

かぜ（普通感冒）とインフルエンザ（流行性感冒）、新型コロナウイルス感染症は、原因や症状が異なるので、混同や勘違いが少なくありません。「自分は大丈夫」と過信していると重症化してしまうこともあるので注意が必要です。

普通のかぜ、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の見分け方

かぜ（普通感冒）もインフルエンザ（流行性感冒）も、初期症状が似ているため区別が難しいこともあります。新型コロナウイルス感染症においては、まったく異なる症状がないといったケースもあります。しかし、軽微な症状であっても重症化するリスクもあるので、高齢者や基礎疾患のある人は特に注意が必要です。

かぜ

かぜは、ウイルスや細菌などの病原体によって引き起こされる、鼻やのど（上気道）の急性炎症の総称です。鼻やのどの粘膜から感染するため、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、のどの痛み、せき、たんなど、鼻やのどの症状が顕著にみられます。

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる、一時的な発熱、寒気、頭痛、筋肉痛、関節痛、咳、喉痛などの症状が特徴です。かぜよりも症状が重く、発熱が顕著です。かぜの症状は数日で軽くなるのに対し、インフルエンザの症状は数日間持続することがあります。

新型コロナウイルス

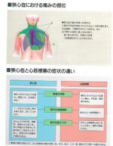
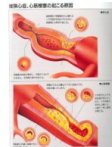
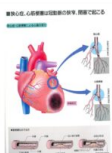
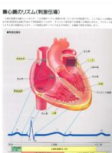
新型コロナウイルス感染症は、その名の通り2019年に初めて報告された新しいウイルス感染症で、COVID-19とも呼ばれます。症状は発熱、寒気、頭痛、筋肉痛、関節痛、咳、喉痛、味覚・嗅覚障害などです。重症化すると肺炎、呼吸器不全、腎臓障害、脳炎、血栓症、多臓器不全など、さまざまな臓器に障害を及ぼす可能性があります。高齢者や基礎疾患のある人は特に重症化するリスクが高いため、注意が必要です。

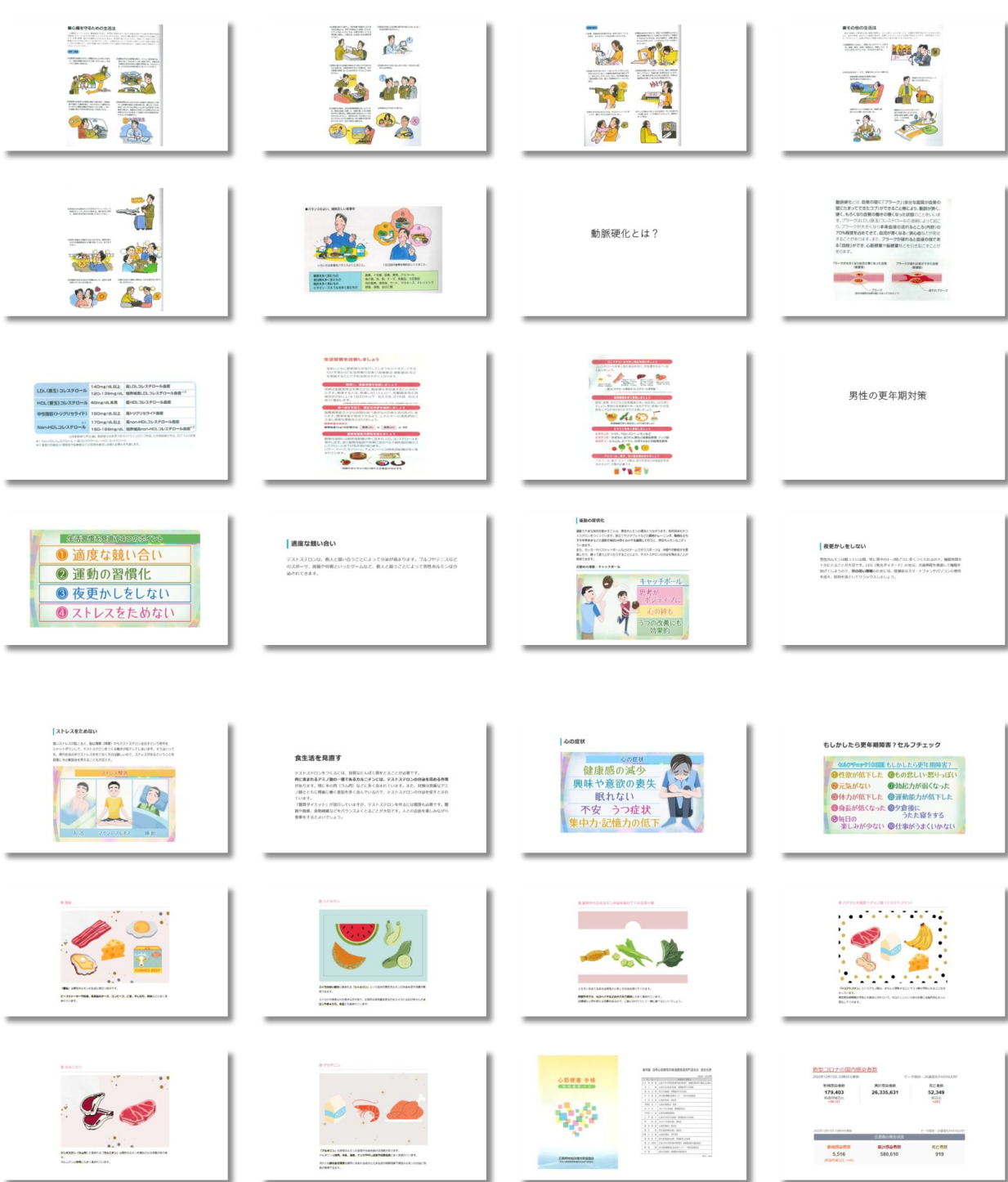
インフルエンザの感染は、対応療法を中心に、発症から48時間以内であればインフルエンザ薬を使用し、体内でインフルエンザウイルスが増殖するのを抑えますが、かぜのウイルスは200種類以上あり、一部を除いてワクチン接種は難しく、痛みや発熱を和らげる対症療法が主な治療法となります。

新型コロナウイルス感染症についても、発症後48時間以内であれば抗ウイルス薬が中心となります。重症化を防ぐためには、発症後48時間以内であれば抗ウイルス薬が中心となります。重症化を防ぐためには、発症後48時間以内であれば抗ウイルス薬が中心となります。

症状・特徴	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
発熱	38.5℃以上の高熱が、突然に起こる。持続時間が長い。	38℃以上の発熱が、持続する。発熱の前兆として、寒気や頭痛、筋肉痛、関節痛、咳、喉痛、味覚・嗅覚障害などがある。
咳	乾咳が主で、痰が絡むこともある。	乾咳や痰を伴った咳がある。咳が長期間持続することがある。
鼻水・のどの痛み	鼻水、のどの痛みがある。	のどの痛み、鼻水、のどの腫れなどがある。
味覚・嗅覚障害	ほとんどない。	味覚・嗅覚障害が、発症の初期に現れることがある。
呼吸器症状	呼吸器症状は軽微である。	呼吸器症状が顕著で、重症化すると肺炎、呼吸器不全などになる。
全身症状	頭痛、筋肉痛、関節痛、倦怠感などがある。	頭痛、筋肉痛、関節痛、倦怠感などがある。重症化すると多臓器不全になる。
検査方法	迅速検査キットで、数分で結果が出る。	迅速検査キットで、数分で結果が出る。PCR検査で確定診断を行う。
治療法	対症療法が中心。抗ウイルス薬が有効な場合がある。	対症療法が中心。抗ウイルス薬が有効な場合がある。重症化すると呼吸器療法、人工呼吸器などが必要になる。

Guide for Patient 狭心症・心筋梗塞





ニコニコBOX

SMILE BOX

川中敬三会員

先ほど、専念寺副住職の報恩講のお参りをさせて頂きました。コロナの話で盛り上がり、お互い気を付けましようと話したところです。

川中敬三会員

女房が五島列島へ旅行に行き、2日ですが不自由しました。家内の大切にしておかないとあとあと困ります。皆さん奥様を大切にしてください。

川中敬三会員

今週日曜日午後4時55分から午後5時30分まで広島テレビの三四郎Dearボスに弊社社長がでます。よかったら観てやってください。

瓜生智則会員

家族が揃って陽性となり私だけ陰性でしたが濃厚接触で先週の例会を欠席しました。家族と接触してないのでとは心配されますが円満です。

当日計

15,000円

累計

1,177,000円